

●第 14 回子ども・子育て会議の意見一覧表●

(1) 利用者支援事業、地域子育て支援拠点事業のあり方について

- ①具体的なニーズの多様性に応じる、子育てコンシェルジュあるいは、コーディネーターの設置が必要と考える。それが役場、ぽけっと、児童館のいずれか、あるいは全てに設置できれば、乳幼児、学童の全ての相談に対応できると思う。そのための「葉みんぐ」の充実、保育サポーター養成の周知などの具体的な事業も見えてくると思う。
- ②現状では、転入してきた親たちに十分に情報が届いているとは考えられない。子育て支援団体の中には、検診などの情報や児童館のイベントなども含めて、子育て情報のメール配信サービスを自主事業として行っているが、メルマガ読者から子育てサービスなどのいろいろな相談がある。地域に知り合いのいない方や転入したての方、子連れで役場等にいけないという方からの問い合わせが多く、気軽な相談窓口となっている。
- ③これまでの様子から、現在の子育て世代は、スマホやSNSから情報を得ることが多いように感じる。そこで、近隣の逗子市のメルマガ配信、三浦市の子育てサイトなどを参考にインターネットの活用も有効だと思う。
- ④利用者支援事業については、横浜市ではそのあり方を検討する部会も開かれているようです。気軽に相談できるワンストップの窓口があるといいと思う。
- ⑤子育て支援センターが町内に1カ所（一色）にしかないことを考えると、ひろば事業の充実が必要だと考える。
- ⑥葉山町の子育て支援センター「ぽけっと」のひろばはスタッフが複数いるのに対し、児童館のひろばではアルバイトが1人で対応していることもあり、そのスタッフの負担と万が一の時の対応などが気になる。複数人の非常勤職員の配置をすることが財政的に難しいのであれば、児童館で行っている学童保育の運営も含めて、民間に委託することを考えるべき。

⑦公的な施設の指定管理も含めた民間委託の場合、町としてガイドラインがあるのか。あれば、次回の会議の際に資料として見せてほしい。

⑧子育て関連の事業に参入を希望する企業や法人等が増えてきている。特に、子ども子育て会議のメンバーそれぞれ、社会福祉法人やNPO法人の方がいるので、参考になると思う。公平性の観点から、10年ごとにプロポーザルや公募を行う市町村もあると聞いている。

⑨児童館については、今後、地域の未就学児の親子～中学生までの子どもたちの居場所として、また、学校や地域とのつながりも含めて、長期的な展望にたち、あり方を検討し内容を整備しなおすことが必要だと考える。児童館の先生も一生懸命な方が多いので、よりよいものになると思う。

⑩長柄地区（上・下）ともに、子育て世帯の転入が多く、行き場所がないといった声をよく聞く。南郷のショッピングセンターの町の公民館スペースを活用し、週1回の子育てひろばを実施することもできるのではないか。駐車場も整備されるそうなので、町内各所から集う場にもなり、そこで利用者支援事業の窓口などがあれば、子育て中の親には便利な場所になると思う。

⑪先駆的な取り組みをしている民間団体の事業を参考に町が事業化する場合、その取り組みをないがしろにしない、民業を圧迫しない配慮が必要。

⑫地域ぐるみの子ども子育て支援を進めるにあたり、民間の知恵と取り組みを上手に活用していただきたい。幸い葉山町は知恵も人材も豊富です。自主的に活動する民間団体を育成し、その事業が継続できるよう配慮することは公の役割だと思う。

(2) 一時預かり事業の拡充、ファミリー・サポート・センター事業について

①支援会員と利用会員のミスマッチは、全国のファミサポの課題です。支援する側が活動できる時間帯と利用する側の必要な時間帯を考えれば当たり前で、うまく対応できないのは制度としての課題だと思う。活動しない支援会員が多いから人数を増やせばなんとかなるといえるのは、安易だと思う。

②一時預かりのニーズはこれからも高くなると思うので、保育園以外にも預かることのできる場所を増やすことが必要と考える。

③逗子市では、公民館を利用して一時預かり保育を行う子育て支援団体が活動している。

(3) 放課後児童クラブ（放課後子ども教室）のあり方について

- ①町直営の学童クラブは、児童館事業のうち的一部分です。児童館は、児童（0歳～18歳）の健全育成という目的のため、全ての子どもが利用している施設です。学童、一般利用の子どもたちの区別がつかないように、運営しています。
- ②町直営の学童クラブは3年生まで受け入れですが、現状は3年生になると自主的に利用が減り、退会される子どもも少ありません。
- ③登録数が多く、学童クラブ枠が足りないように思いますが、実際の利用は5～6割の利用の場合が多い。
- ④学童クラブとして多様性を認めるなら、今の葉山のやり方でも良いと思う。
- ⑤放課後の校庭開放については、PTA、子ども会、町内会などの地域の大人の見守りの協力体制を整えれば、実現しやすいと思う。

(4) その他

- ①どの課題も抽象的な目標になっており、具体化するための内容がないように思える。本気で進めるにはもっと具体的な方策を考えるべきではないか。